

数学125班

日本と色々な国の相関関係

班員 稲垣 純平 貴宮 颯史
築田 龍蔵

指導者 石渕先生
土井先生

研究の動機

日本と他国には、出生率や死亡率、所得降水量などを比較すると、どのような相関があるのか、またはないのか調べてみたいと思ったから。

先行研究

国際比較で見た所得格差の状況

<https://www.iri.co.jp/page.jsp?id=38401>

世界における降水量と降水特性の長期変化

<https://koumu.in/articles/479>

研究方法

- 1・インターネットで日本と他の国の一年間の降水量を調べる
- 2・それらの割合を表にまとめる。
- 3・まとめた表から相関グラフを作成し、レポートにまとめる。

仮説

- ・降水量は日本と同じ温帯の気候の国比べると正の相関が表れ、熱帯や乾燥帯の国などと比べると負の相関が表れる。
- ・出生率や死亡率は日本は医療技術が発達しているため発展途上国の国と比べると正の相関が現れる。

参考文献

世界の出生率の現状

<https://elemenist.com/article/1714>

公務員総研

<https://koumu.in/articles/479>

厚生労働省ホームページ

<https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/kousei/19/backdata/01-01-01-07.html>

結果

